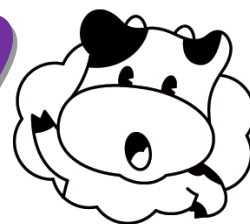


湘南カフェテリア



2016年5月23日
発行：藤沢エリア
経営会議
問合せ：地域活動支援課
電話 045-470-6863
(月～金 10:00～17:00)

春の「福島の子ども保養プロジェクト」報告

3月28日(月)から30日(水)の2泊3日で「2015 春休み 動物園と中華街」横浜であそぼう」が開催されました。震災から5年経ちますが、福島ではいまだなお震災前と同じ生活に戻っていない方もたくさんいます。福島の子どもたちが思いっきり元気に遊んでもらえる機会を作りたいという思いから企画され、プロジェクト費用は組合員のみなさんの震災復興カンパ「福島の子ども保養カンパ」より支出されています。今回は16組40名の親子での参加でした。



1日目：郡山から新幹線で東京駅へ到着。「新幹線に初めて乗る」という子どももたくさんいました。バスに乗り換え「ズーラシア」へ。たくさんの動物が近くで見られると保護者のみなさんも大興奮でした。その後は中華街にて夕食ののち交流会。保護者は神奈川の組合員とさまざまな話題に花を咲かせ、子どもたちはゲームで盛り上がりました。神奈川の子どもも含め、みな初めて出会いましたが交流会ですっかり仲よしになりました。

2日目：朝から横浜スタジアムの中で遊びました。プロ野球の行われるマウンドに入るとあり、子どもたちは大興奮。楽しく汗を流しました。その後はオプションツアー「江の島コース」「みなとみらいコース」に分かれ、それぞれ楽しい時間を過ごしました。



「江の島コース」はトレジャーハンターに参加し、さまざまなヒントを島内で探し、謎解き。

最後に宝のメッセージを探し出すというものでした。男の子も女の子もチームごとに協力して広い島内を歩き回りました。

宝のメッセージへ到達した時の子どもたちのうれしそうな顔が印象的でした。

ホテルに戻り、希望者のみ実費でベイスターズのホーム開幕戦を観戦しました。右中間に抜けるヒットや得点が入った時の応援席との一体感に子どもたちは眠気も忘れて盛り上がっていました。

3日目：スタジアムでのキャッチボールに始まり、食育ぱっくん隊の講師の方々といっしょに「おにぎらず」を作り、それを「まんまるプレイパーク」で昼食にしながら暖かい春の日差しの中、外遊びを楽しみました。そして3日間の楽しい思い出を胸に、新幹線で郡山へと帰っていかれました。5年がたち、私たち神奈川に住むものからすると「過ぎてしまったこと」になりつつありますが、福島ではいまだ困難な生活をされてる方もいらっしゃいます。

この企画はみなさんからのカンパにより運営されていますので、夏の保養キャンプ、春の親子保養プロジェクトが今後も継続できますようご協力ください。(M)



3月回収のお知らせ

3月の回収状況(ABパック)
藤沢センターでは **31.9%**
戻ってきました！



トマトの箱、いちごの箱は回収しています！

パルシステムでは、トマトやいちごの段ボール箱を再利用(リユース)しているって知っていますか？

返却個数が少なく困っています。

とくに1kg用の箱は、回収率が低い状況です。

みなさんのご協力をお願いいたします。



折りたたんでお戻ください



太陽光設備お披露目見学会

藤沢センターの屋根に太陽光発電設備が設置され、エリアメンバーは定例会後に行われた、太陽光発電設備お披露目見学会に出席しました。



はじめに、太陽光発電について簡単な説明があり、その後、実際にパネルを見学いたしました。駐車場屋根部分に設置されたパネルは、280枚もあり72.8キロワットの出力があります。この設備で一般家庭約21軒分の電力が発電できるそうです。センター事務所にはモニターがあり、現在の発電量・省エネ数値を目で確かめることができました。藤沢センターを含め、現在4センターに太陽光発電設備が設置されています。その使用法は、自家消費・売電と発電量など状況によって変わってきます。「電気も選ぶ時代」発電の種類によって、メリット・デメリットも変わってきます。エリアメンバーからもたくさんの質問があり、関心の高さがわかりました。(A)